

2018年3月期 第2四半期 決算概況



キャリア実現支援企業

東証JASDAQ : 9696

<http://www.with-us.co.jp>

目次

ウィザスについて

ウィザスとは	．．．．．	P. 3
トップメッセージ	．．．．．	P. 4
会社概要	．．．．．	P. 5

2018年3月期 第2四半期決算業績概要（連結）

業績の概要	．．．．．	P. 6
-------	-------	------

事業別概況

事業別業績	．．．．．	P. 10
事業別生徒数推移	．．．．．	P. 11
学習塾事業	．．．．．	P. 14
高校・キャリア支援事業	．．．．．	p.16
その他	．．．．．	p.19

株主還元・CSR活動

株主還元	．．．．．	p.23
CSR活動等の実施	．．．．．	p.24

ウィザスとは – What is “With us” –

ウィザスグループは、学習塾事業、高校・キャリア支援事業、その他（ICT教育・能力開発事業、企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業、ランゲージサービス事業）など多様な教育ニーズに対応した幅広い分野での総合教育サービスを提供しております。



学習塾事業

幼児から高校生までを対象とする教科学習指導・進学受験指導並びに能力開発指導
(株)ウィザス、(株)フォレスト、(株)佑学社、(株)学習受験社



高校・キャリア支援事業

広域通信・単位制高等学校の運営及び高等学校卒業程度認定試験（高認）合格のための受験指導、保育士・介護福祉士等の資格取得に向けた学習支援、海外からの留学生を対象にした日本語教育サービス等

(株)ウィザス、(株)エヌ・アイ・エス、(株)Genki Global



その他

WEB上での速読を主体とする各種教育サービス、ICTソリューションサービスを提供するICT教育・能力開発事業、企業向け社員教育コンテンツの開発・販売を行う企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業、ランゲージサービス事業等

(株)SRJ、(株)V-Growth、(株)レビックグローバル、(株)吉香等

トップメッセージ

私たちは、ウィザス独自の「プラスサイクル学習法※」の実践を通じ、生徒の「自他肯定感」向上を育むために、一人ひとりの生徒の状況や個性を尊重し、生徒自身が自分を意欲喚起でき、自己成長し続ける力を養える教育をめざして参ります。

※プラスサイクル学習法（P.14ご参照）



代表取締役社長
生駒 富男

【経営理念】

3つの貢献

顧客への貢献

満足を超えた業務の遂行と
人間力発揮を通じた貢献

Customer

社員への貢献

社員・スタッフの自己成長と
真のハッピーを通じた貢献

Employee

Society

社会への貢献

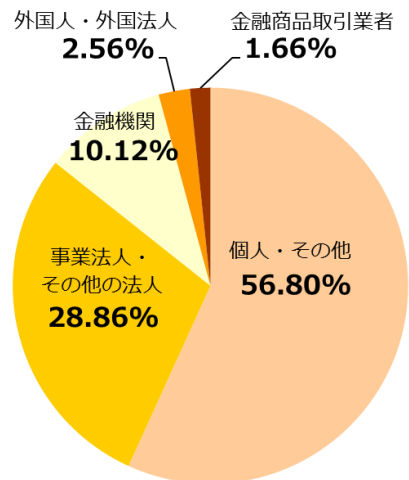
コーポレートビジョンの実現と
業績向上を通じた貢献

【コーポレートビジョン】

“社会で活躍できる人づくり”を実現できる最高の教育機関をめざす

会社概要

- **会社名** : 株式会社ウィザス (With us Corporation)
- **設立** : 1976年7月10日
- **資本金** : 1,299百万円
- **本社所在地** : 大阪府中央区備後町3丁目6番2号 KFセンタービル
- **従業員数** : 791 名 (男 : 552 名 女 : 239 名) ※2017年9月末現在 (連結)
- **上場市場** : 東証JASDAQ
- **発行済み株式数** : 10,440,000株 ※2017年9月末現在
- **株主構成** :



	株主名 (2017年9月末)	所有株式数(千株)	議決権比率
1	株式会社ヒントアンドヒット	1,188	11.81%
2	株式会社増進会出版社	626	6.22%
3	ウィザス社員持株会	541	5.38%
4	堀川 明人	466	4.63%
4	堀川 直人	466	4.63%
6	株式会社明光ネットワークジャパン	267	2.66%
7	日本生命保険相互会社	249	2.47%
8	堀川 一晃	221	2.19%
9	株式会社市進ホールディングス	220	2.18%
10	浜興産株式会社	190	1.88%

(注1) 上記は持ち株比率で表記しております。
(注2) その他には自己株式を含んでおります。

(注1) 上記のほか、自己株式が377千株あります。
(注2) 議決権比率は自己株式を控除して計算しております。

業績の概要

当第2四半期連結累計期間におきましては、中核事業である学習塾事業および高校・キャリア支援事業の持続的成長を目指し、地域シェアを高めるためのドミナントエリア強化、ICTを活用した映像・音声による教育サービスの充実、時代のニーズを先取りした魅力あるコースの設置、スペシャリスト育成を図る異業種パートナーとの提携等の施策を実施してまいりました。また、今後の事業領域の拡大にむけて当社グループに参入いたしました通訳、翻訳及びスペシャリスト派遣等のランゲージサービスを展開する株式会社吉香と、日本語教育サービスを展開する株式会社Genki Globalが、当期より本格的に寄与しております。

以上の結果、売上高は7,466百万円(前年同期比15.3%増)、営業損失は1百万円(前年同期は営業損失52百万円)、経常利益は17百万円(前年同期は経常損失39百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は63百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失83百万円)となりました。

(百万円)	2017.3 2Q 実績	構成比	2018.3 2Q 実績	構成比	対前期増減		(参考) 通期	
					金額	%	2017.3 実績	2018.3 計画
売上高	6,474	—	7,466	—	991	15.3%	14,313	15,856
売上原価	4,962	76.6%	5,586	74.8%	623	12.6%	10,287	11,340
売上総利益	1,512	23.4%	1,880	25.2%	367	24.3%	4,026	4,516
販売管理費	1,564	24.2%	1,881	25.2%	316	20.2%	3,396	3,500
営業利益	△ 52	—	△ 1	—	51	—	629	1,016
経常利益	△ 39	—	17	—	56	—	653	883
親会社株主に帰属する 四半期・当期純利益	△ 83	—	△ 63	—	20	—	112	272

(注) 当社グループの収益構造は、新年度開始となる4月の生徒数が通期で最も少なく、その後増加していくことや、夏・冬・春の季節講習会時に売上高が通常月以上に増加することに加え、固定費や広告宣伝費等の先行投資的費用が発生するため、季節的な収益変動要因があります。

2018年3月期 第2四半期 決算データハイライト（連結 BS）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて530百万円減少し、12,122百万円となりました。

（単位：百万円）

	2017年3月期 4Q末実績	2018年3月期 2Q末実績
流動資産	5,568	4,483
現金及び預金	4,361	3,481
受取手形及び売掛金	292	297
その他流動資産	914	704
有形・無形固定資産	3,947	4,169
投資等	3,135	3,469
資産合計	12,652	12,122
流動負債	5,454	4,636
短期借入金・1年内返済予定の長期借入金・1年内償還予定の社債	896	992
前受金	2,932	2,086
未払法人税等	248	214
その他流動負債	1,378	1,344
固定負債	2,258	2,607
長期借入金・社債	307	456
その他固定負債	1,951	2,151
純資産合計	4,939	4,877
負債・純資産合計	12,652	12,122

2018年3月期 第2四半期 決算データハイライト（連結 CF）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期末と比べて304百万円増加し、3,377百万円となりました。

	2017年3月期 2Q累計実績	2018年3月期 2Q累計実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 552	△ 516
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 809	△ 480
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 111	111
現金及び現金同等物の期末残高	3,072	3,377

<p>➤ 営業活動によるキャッシュフロー</p> <ul style="list-style-type: none"> 税金等調整前四半期純利益 減価償却費 売上債権の増加額 前受金の減少額 	<p>△5億16百万円</p> <p>35百万円</p> <p>1億85百万円</p> <p>3億24百万円</p> <p>△8億46百万円</p>	<p>➤ 財務活動によるキャッシュフロー</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期借入れによる収入 社債の償還による支出 配当金の支払による支出 	<p>1億11百万円</p> <p>3億 2百万円</p> <p>△40百万円</p> <p>△1億 円</p>
<p>➤ 投資活動によるキャッシュフロー</p> <ul style="list-style-type: none"> 有形固定資産の取得による支出 無形固定資産の取得による支出 連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 保険積立金の積立による支出 	<p>△4億80百万円</p> <p>△1億16百万円</p> <p>△1億34百万円</p> <p>△1億19百万円</p> <p>△1億29百万円</p>		

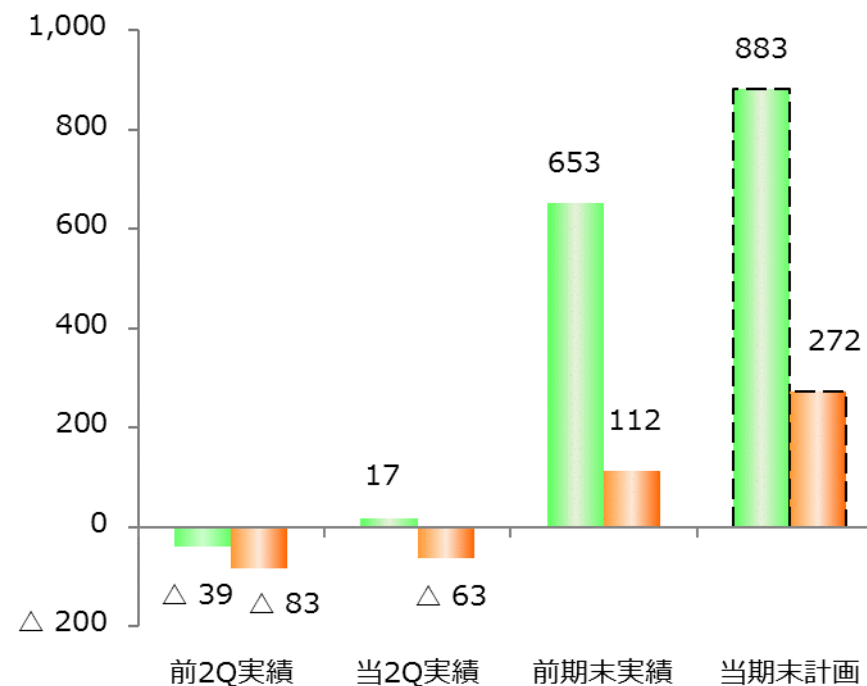
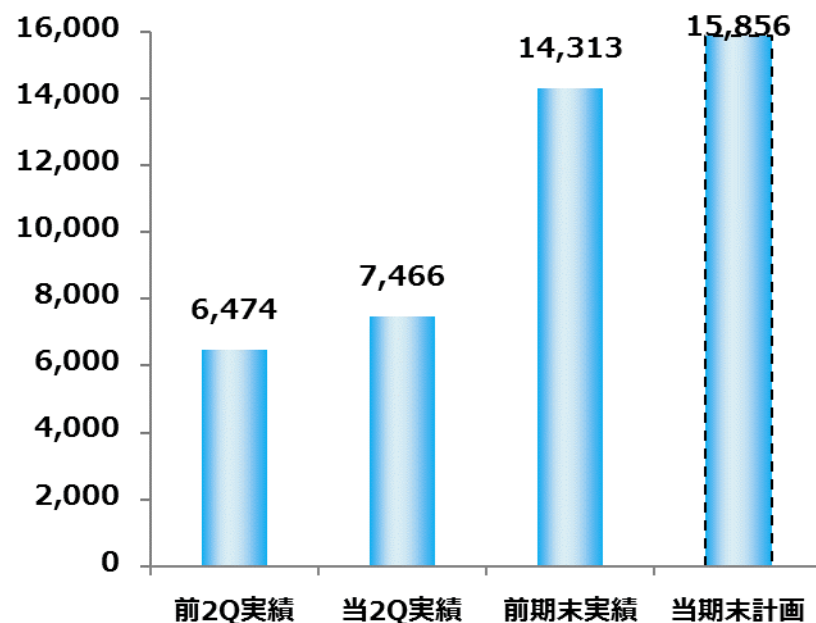
連結業績推移 2018年3月期 第2四半期

(単位：百万円)

売上高

経常利益/親会社株主に帰属する
四半期純利益・当期純利益

■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益・当期純利益



事業別業績 2018年3月期 第2四半期（連結ベース）

（単位：百万円）

2Q

	学習塾事業		高校・ キャリア支援事業		その他		調整額	
	前2Q期	当2Q期	前2Q期	当2Q期	前2Q期	当2Q期	前2Q期	当2Q期
売上高	3,777	3,826	1,944	2,194	752	1,446	-	-
営業利益	395	379	102	125	74	162	△623	△669
校舎数	175校	178校	39校	41校	7校	7校	-	-
生徒数	17,967名	17,892名	6,694名	6,326名	431名	465名	-	-

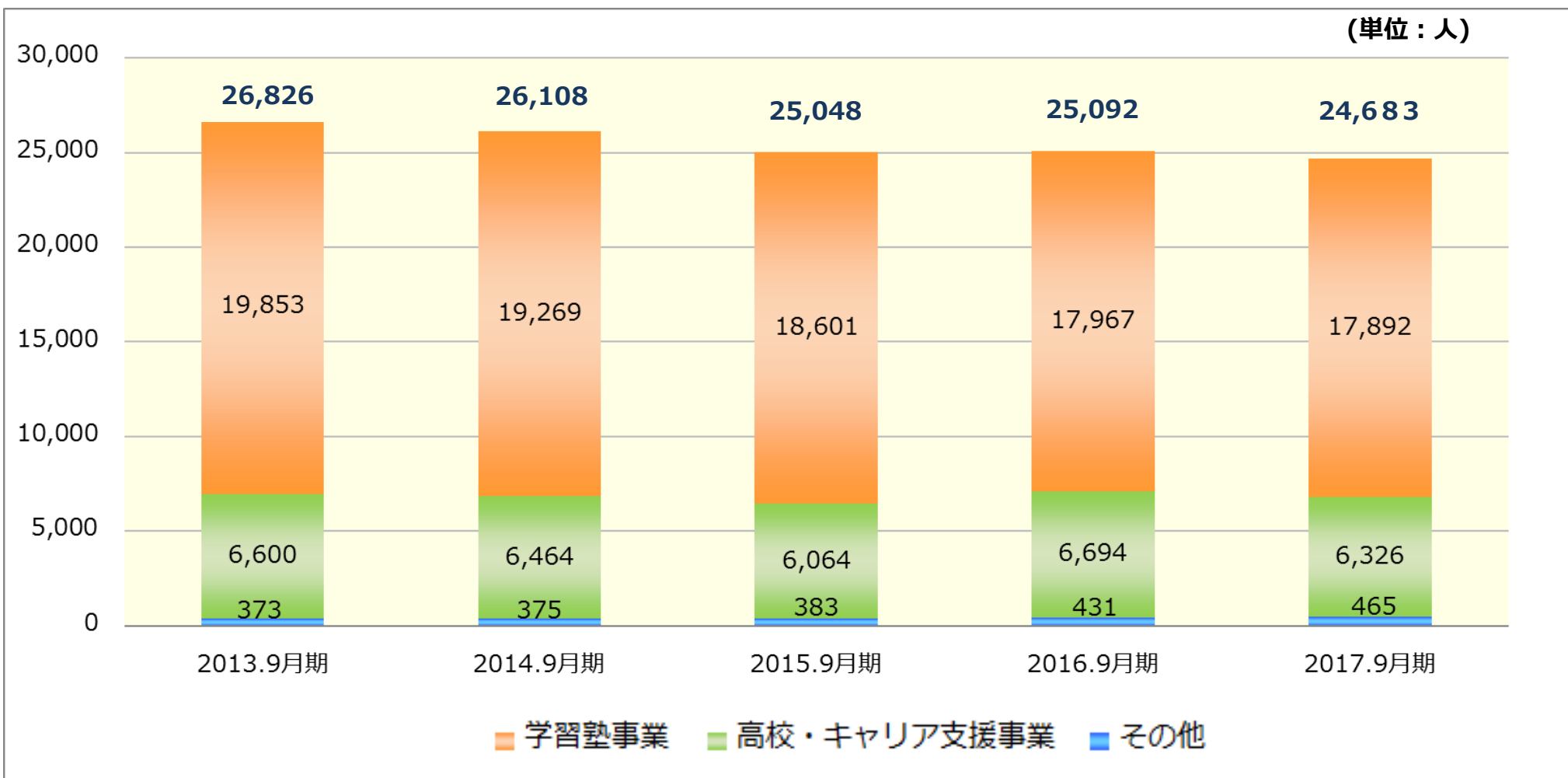
（ご参考）

通期

	学習塾事業		高校・ キャリア支援事業		その他		調整額	
	前期実績	当期計画	前期実績	当期計画	前期実績	当期計画	前期実績	当期計画
売上高	8,068	8,193	4,481	4,901	1,764	2,762	-	-
営業利益	1,013	1,053	667	711	93	346	△1,144	△1,094
校舎数	172校	186校	38校	41校	7校	7校	-	-
生徒数	18,657名	19,044名	6,747名	6,511名	443名	411名	-	-

- （注）
- ・ 営業利益は本社経費配賦前営業利益となります。
 - ・ 前期第4四半期より、各事業セグメントの業績をより適切に評価するため、「のれん償却額」を各事業セグメントに含める方法に変更しております。
 - ・ 生徒数は期中平均生徒数を記載しております。
 - ・ 「その他」の校舎数及び生徒数は幼児英語教育分野の校舎数・生徒数を記載しております。

事業別生徒数推移 第2四半期 期中平均生徒数（連結）



(注) ・ 上記数値は正規在籍者のみを掲載しており、講習会等の行事参加者は除いております。

・ 高校・キャリア支援事業には、日本語教育等の生徒数（株）エヌ・アイ・エス、（株）Genki Global）を含んでおります。

・ その他は、幼児英語・英語学童保育の生徒数を記載しております。

校舎展開

積極出店とニーズに応じた移転・増床を行うことにより、競合力の強化とドメインの拡大を図っております。

全国227校

(2017年9月末現在)



事業展開

当社グループは、総合教育サービス企業として、学齢や指導形態等、多様な顧客ニーズに対応するブランド形成を図っております。海外からの留学生を対象とした日本語教育サービスの提供やランゲージサービス事業等、事業領域を積極的にひろげております。

セグメント	会社名/事業	ブランド名	対象				
			幼児	小学生	中学生	高校生	社会人等
学習塾事業	(株)ウィザス	第一ゼミナール		←→	←→	←→	
		ファロス個別指導学院		←→	←→	←→	
		第一ゼミパシード PASSPORT		←→			
		自宅が塾になる? スクールZ		←→	←→	←→	
		SUR 合格指導会 (シュール)		←→	←→	←→	
		MedSUR (メッドシュール)				←→	←→
	(株)学習受験社	GAZ (ガゼット)	←→	←→	←→		
	(株)佑学社	佑学社 大阪教育		←→	←→	←→	
	(株)フォレスト	国語学習会		←→			
高校・キャリア支援事業	(株)ウィザス	第一学院高等学校				←→	
		第一学院専門カレッジ					←→
	(株)エヌ・アイ・エス (株)Genki Global	ic NAGOYA INTERNATIONAL COMMUNICATION NAGOYA 元氣 Genki JAPANESE & CULTURE SCHOOL				日本語教育サービス	←→
その他	幼児教育、ICT教育・能力開発、広告、企業内研修等、ランゲージサービス等	Blue Dolphins ブルー dolphins Daiichi Progress SRJ 株式会社 ふみコミュニケーションズ V-Growth 株式会社レビックグローバル 株式会社ブリーズ KIKKO For Better Communication					

学習塾事業：独自の教育プログラムによる顧客満足度の追究

大学入試改革を象徴とした教育改革の潮流に対して、将来も見据えたプラスサイクル学習法と各種プログラムで、自己成長を図る高付加価値教育サービスを提供し、社会で活躍できる人づくりに貢献すると共に、顧客満足度の向上をはかってまいります。

プラスサイクル学習法

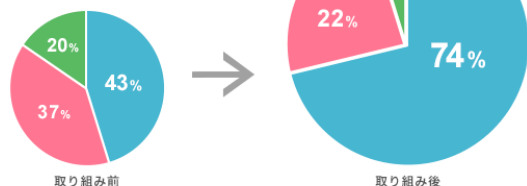
プラスサイクル学習法とは、当社40年間の指導経験に、最新の脳科学の研究成果を活かした第一ゼミナール独自の教育プログラムです。



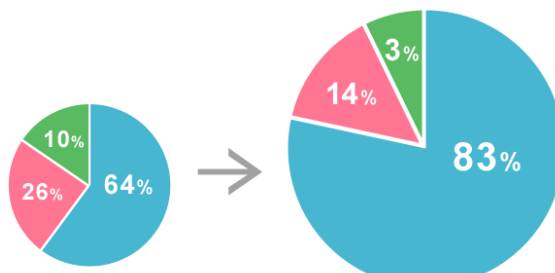
創業以来培ってきた意欲喚起教育EMS（the Educational Method of Self-motivation）を更に進化させ、「わかったつもり」が「できた！」に変わる学習法として展開しております。

日ごろから「勉強は自己成長タイム」と思って、勉強が楽しくなり、成績が向上する実感はありますか？

■ そう思う
■ 少しそう思う
■ 思わない



勉強は自分のためだけにするものではなく、「自分以外の人も喜ばせるため」の勉強であると思いますか？



第一ゼミナール内「プラスサイクル学習法モデル教室」で約200人を対象に行ったアンケート結果。取り組み前の状態と取り組み開始後約2ヶ月半との比較。

2017年3月期 実績

校舎数	172校
期中平均生徒数	18,657名
売上高	8,068百万円
営業利益	1,013百万円



2018年3月期（通期計画）

校舎数	186校
期中平均生徒数	19,044名
売上高	8,193百万円
営業利益	1,053百万円

（注1）共通費用配賦前の営業利益

トピックス：京大ゼミナール久保塾株式会社グループイン（子会社化）

京大ゼミナール久保塾株式会社は、昭和59年の創業以来一貫して小学生・中学生を対象に高いレベルでの学習指導や受験指導を行い、長年に亘って、難関といわれる公立高等学校や私立中・高等学校の合格に導く指導力と高い合格率で、阪神間のエリアを中心に確かな信頼を獲得してまいりました。

現在は7教室を有しており、各教室において専任の社員一人ひとりが、きめ細かい指導を実現するクラス担任制で指導をしております。授業においては、一方的な講義型ではなく「生徒との会話」を重視した対話型で、生徒一人ひとりの思考力、問題解決力を伸ばすことをテーマとして取り組んでおります。

同社が当社グループに加わることで、教育ノウハウや経営資源を融合して活性化させ、「学習塾事業」におけるドミナントエリアの拡大を図ってまいります。

兵庫県



御影教室



本山教室



夙川教室



六甲教室



岡本教室

大阪府



曽根教室



緑丘南教室

高校・キャリア支援事業：独自のICT教育 日本語教育サービスも展開

高校事業

第一学院高等学校

構造改革特区の認定を受けた株式会社立の広域通信制高校で、東日本に「高萩本校」、西日本に「養父本校」の2校を設置しております。独自のICT教育を推進しており、全生徒を対象にタブレットを使用し、映像・音声による授業配信とともに、レポート作成・提出・進捗管理を一体的に行っております。

設置コース

- 通学型 標準コース、特別進学コース、総合コース、特化コース、芸能コース、スポーツコース、美容コース、ペットコース、本校通学コース等
- 通信型 Mobile HighSchool（通信コース）、高認取得通信コース



高萩本校（茨城県）



養父本校（兵庫県）

2017年3月期 実績

校舎数	38校
期中平均生徒数	6,747名
売上高	4,481百万円
営業利益	667百万円



2018年3月期（通期計画）

校舎数	41校
期中平均生徒数	6,511名
売上高	4,901百万円
営業利益	711百万円

（注1）共通費用配賦前の営業利益

キャリア支援事業

第一学院専門カレッジ

社会人を対象に週1～2日の通学で保育・介護・ビジネスの資格取得に向けた授業を実施しております。実技授業により、現場で活用できる知識を身につけることが可能です。

設置コース：介護福祉士実務者研修、キャリアデザインコース

日本語教育サービス事業



主にアジア圏からの留学生を対象にした日本語教育サービスを提供しております。国籍・性別・年齢を超えてコミュニケーション能力を上げ、世界的な視野で考え行動できる人材を育成し、地域社会・国際社会に貢献してまいります。



日本語習得を希望するヨーロッパの学生、社会人を対象に、日本語を学ぼうとする一人ひとりの学習者に寄り添いながら、日本語の特質や価値観・習慣・日本文化を伝え、地域交流や様々な体験イベントを通じて、諸外国からの日本理解に貢献してまいります。

高校・キャリア支援事業：第一学院高等学校の特色ある専門コース

通信制高校としての特色を活かして、生徒の興味・関心に応じた魅力あるコースを展開し、多様なスペシャリスト育成に貢献してまいります。

特化コース

デジタルハリウッド大学／デジタルハリウッドと提携。プロの講師陣から実践的に学びます。

ICTスキルやプログラミングなど、これからの時代で一層必要となる力を、プロの講師陣から実践的に学びます。



デザイン&プログラミング講座 [関東圏]

PhotoshopやIllustratorの基礎、プログラミングの基礎、最先端の技術や知識をリアルタイムで学べます。視聴覚ブースや専門書が豊富な図書館も利用できます。



デジタルハリウッド大学



第一学院高等学校

デジタルイラスト&web・動画講座 [関西圏]

PhotoshopやIllustratorの基礎、デザインや動画制作について学びます。効果的な表現、効率的な制作方法など、実践力・応用力を身につけることができます。



デジタルハリウッド



第一学院高等学校

芸能コース

渡辺プロダクショングループの『渡辺高等学院』と提携。プロ講師から芸能デビューに直結した専門レッスンを受けることができます。



スポーツコース (サッカー部)

学習時間とトレーニング時間をフレキシブルに確保し、文武両道のアスリートを育成します。



美容コース

美容専門学校との提携。美容のプロになるための専門知識（エステやネイル・メイクなど）やプロの技術を実践的に身につけます。

ペットコース

ペットに関する分野で活躍するために、ペット業界のビジネスからペットの美容・健康に関することまで、幅広い専門知識を身につけます。

トピックス：ますますひろがる生徒の夢実現

古川 大悟くん Jリーグデビューを飾る

千葉キャンパスに在籍中の古川 大悟くんは、ジェフユナイテッド千葉に所属する現役のJリーガーです。

レポート学習や学校行事への参加を通じて、高校卒業を目指して学ぶとともに、サッカーでの夢実現にむけて日々励んでいます。

7月1日（土）には、試合後半についてJリーグの試合に初出場を果たし、また一步夢の実現に近づきました。これからのますますの活躍と成長に、大いに期待しています。



第一学院高等学校の夢

時代が激しいスピードで変化を見せる中、高校生の学びも一層多様化していきます。大人になる前から、スポーツや、あるいは他のことを通じて「世界の人々に夢や希望を与えていきたい」と願い、古川くんのように頑張っている若者がたくさんいます。

第一学院高等学校では、当社がコーポレートビジョンとして掲げております『社会で活躍できる人づくり』を、通信制高校の特性を活かして実現してまいります。魅力的なコースやプログラムを今後もつくり、スペシャリストの養成をサポートし、たくさんの夢の実現に寄り添っていききたいと強く願っております。

その他

ICT教育・能力開発事業

- 能力開発「右脳速読講座」を全国教育機関に提供するとともに、企業や社会人向けコンテンツも制作・販売しております。
- ICT機器やアプリ、ネットワーク構築等のソリューションサービスをワンストップで提供しております。



2017年3月期 実績

売上高	1,764百万円
営業利益	93百万円



2017年3月期（通期計画）

売上高	2,762百万円
営業利益	346百万円

（注1）共通費用配賦前の営業利益

企業内研修ポータルサイト事業

- 法人向けe-ラーニングサービスを展開し、社員育成・能力開発教材コンテンツを提供しております。
- 映像を活用し、学習スタイルや学習方法に応じた最適な教育の開発と学習環境のプロデュース、ナレッジ継承などによる人材育成及び人材開発をサポートします。



ランゲージサービス事業

- 世界90言語に対応できるスペシャリストを抱え、在京テレビ局を中心に同時通訳や映像翻訳等を行っております。
- 通訳・翻訳、秘書、受付、一般事務だけでなく、展示会・周年事業・式典・研修会などの各種イベントに必要な運営・進行スタッフを始めとして専門講師等の派遣を行っております。



世界90言語対応
語学専門サービス

KIKKO は地球上の言語を統括する約90の言語を操ることが出来る専門スタッフを中心に、国際化社会でのコミュニケーションを軸としたインターナショナル・ホスピタリティを提供します。

その他 ICT教育・能力開発事業

ICT教育・能力開発では、速読を当社独自で応用・研究し、小学生から社会人までの幅広い年齢層を対象に、速読力を総合的に鍛える『速読速解システム』等を制作・販売するとともに、ICTを活用したオンライン英語コースを販売しております。さらにICT教育ソリューション・サービス事業として学習塾・学校の講座運営にあわせてベストなICT教育環境の導入から環境支援、運用支援をワンストップサービスで提供しております。

速読速解システム



脳科学に基づき開発されたトレーニングを行い、長文を早く正確に読み解き記憶する能力を最大限に引き出し、記憶力や理解力、入試での合格力を高めます。学習塾や公私立学校等2,000校以上の教室で導入され、受講者は累計22万人を突破しております。この速読メソッドを活用し、受験英語に必須の長文読解に特化した「速読英語」（1,000校以上で導入）と社会人を対象とした資格取得に特化した「ビジネス資格90」があり、幅広い年齢層に対応しております。



ICT教育ソリューション・サービス



教育企業グループの経験と実績をもとに、現場の指導者の視点から様々な教育コンテンツを紹介し、それらを円滑に運用可能な端末やコンテンツに導入し、ICT授業に必要なインフラの構築、導入後の端末管理やネット環境などを一括でサポートするサービスです。

その他 企業内研修ポータルサイト事業

法人向けeラーニングサービスの提供



三井住友銀行をはじめとするメガバンクや国内自動車メーカー等の大手製造業、近鉄エクスプレス、アサヒビール等の大企業における社員研修や営業研修等の法人向けオンライン教育サービスを提供しております。映像などのリッチメディアを活用した教材の開発から、学習環境のプロデュース、ナレッジ継承による人材育成・開発を行っております。

主な製品

■eラーニング教材

- ・ 内定者/新入社員研修・教育
- ・ 人材育成（グローバル人材、管理職、若手中堅社員向け）
- ・ 営業研修
- ・ 会計/財務
- ・ MBA
- ・ 語学（TOEIC/中国語）
- ・ PC/ITスキル
- ・ CSR/コンプライアンス

■外国人スタッフ向け研修教育（多言語）

- ・ 英語
- ・ 中国語
- ・ ベトナム語



その他 幼児教育

世界を舞台に活躍できる人づくりを目指して、本格的な英語教育に力を入れています。学校英語の枠組みとは異なった本物のコミュニケーション能力を育む教育スタイルを実践しております。英語教育の早期化及び学童保育の必要性といった社会のトレンドにいち早く対応いたします。

幼児期からの英会話能力養成



英語で保育、英語で授業をモットーに、経験豊かな外国人との生活面を含めたふれあいを通じて、英会話能力を育成いたします。国際感覚を養成する英語環境の保育施設を大阪府および兵庫県に展開しております。



英語指導を行う学童保育施設の展開



学童保育に加え、ますます進む国際化、英語必須時代に向けて、国際社会で通用するコミュニケーション力を養成するカリキュラムを展開し、英語の4技能（聴く・話す・読む・書く）を本格的に指導します。さらに、映像・ICT教材を活用し、児童の学習意欲を引き出すとともに、ITリテラシー*の向上もはかります。大阪府に2校展開しております。



*1: パソコン・インターネットに関する利用能力



株主還元

当社は株主の皆様に対する利益還元を最重要課題のひとつと考えております。利益配分の基本方針としては、将来における企業成長と経営環境の変化に対応するための投資や強固な財務体質構築に資する内部留保金を確保しつつ、継続的な配当による株主の皆様への利益還元を積極的に行い、安定配当に主眼をおいた考え方を取っております。

期	年度	1株当たり配当金 (円)	純資産配当率 (%)	利回り ^(注1) (%)	株価 (期末終値) (円)
39期	2015.3	13.50	3.2	4.15	325
40期	2016.3	16.00 (記念配2.5円含)	3.6	5.08	315
41期	2017.3	16.00	3.5	4.22	379
42期予想 ^(注2)	2018.3	16.00	—	—	—

単元株数は100株となっております。

(注1) 利回りは年度末3月31日時点の株価で算出しております。

(注2) 第42期につきましては、普通配当として中間配当6円、期末配当予想10円となっております。

環境保全活動、CSR活動等の実施

環境保全活動

第一ゼミエコ★プロジェクト

当社では、“「**世界の子ども**」と「**地球の未来**」を創る”をテーマとする「ペットボトルキャップ回収」に取り組んでおり、キャップの売却益が「世界の子どもにワクチンを日本委員会」へワクチン代として全額寄付されます。

キャップ回収：4,972,449個

ワクチン：6,215人分

CO₂削減：39,158Kg

2017年10月13日



■キャップ800個
→ポリオワクチン1人分

■キャップ400個
→3.15kgのCO₂削減

校舎照明の切り替え

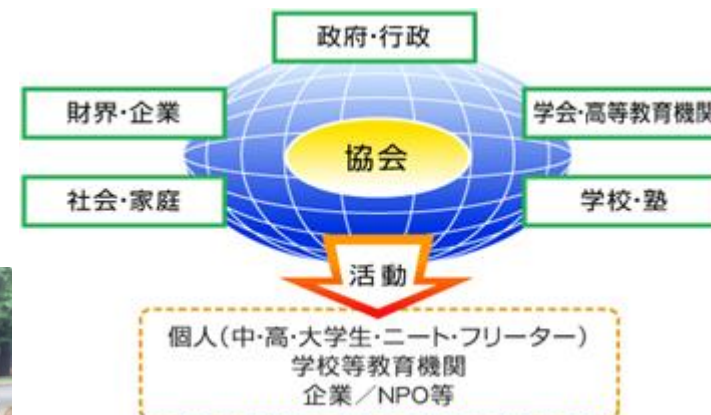
当社では、節電と環境保護のために全校舎でのLED照明切り替え活動を行っております。LEDは地球環境に貢献でき、電力使用量及びコストの大幅削減になる照明です。



社会貢献活動

キャリア教育事業を通じた活動

青少年と行政・企業・教育機関等とのキャリアネットワーク形成を推進する「一般社団法人 共生と共育ネットワーク」の受託業務において、収益事業としてではなく社会貢献活動の一環と位置付け、全国の保護者・団体等への講演・相談会を行うと同時に、カウンセラーの養成・研修を推進しております。





東証JASDAQ : 9696

お問合せ先 株式会社ウィザス 統括支援本部 経営企画チーム

【TEL】 06-6264-4205

【Mail】 webmaster@with-us.co.jp

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。